

子宮がん・乳がん検診のご案内

子宮がん・乳がん検診を毎年1回（マンモグラフィは2年に1回）受診しましょう。前回の検診で異常がなかった方も、この機会にご予約ください。がん検診はご加入の健康保険に関係なく受診が可能です。



【予約方法】

■検診会場：保健福祉センター（古川1015 - 1）

Step1 希望の時間・項目を選ぶ

実施日	予約受付期間	午前		午後		託児室
		乳がん	子宮がん	乳がん	子宮がん	
7月5日(金)	5月28日(火)～	●	●	●	●	●
7月6日(土)	定員まで	●	—	●	●	—

■検診項目・負担額

- 子宮がん検診 20歳以上…1,000円
 - 乳がん検診
 - 20～39歳：超音波検査…600円
 - 40～56歳：超音波検査+マンモグラフィ…1,200円
 - 57歳以上：マンモグラフィ…600円
- ※マンモグラフィは、2年に1回の受診となります。

婦人科検診は医療機関でも受けられます

市では、集団検診のほかに医療機関検診も実施しています。検診を受けるには「受診券」の申請が必要です。受診券の申請方法は下記のとおりです。負担額・登録医療機関は、ホームページまたは健康管理予定表をご確認ください。

◆受診券の申請方法

- ①電話 ☎25 - 2100 による申請
- ②健康増進課窓口での申請

※申請期限は①②ともに令和2年3月13日(金)

◆受診券有効期間

発行日～令和2年3月31日(火)

Step2 予約受付期間内に①または②の方法で申し込む

①予約専用電話（☎0297 - 25 - 2983）にて申し込む

②健康増進課窓口で直接申し込む

※予約受付時間は①②共通で午前9時～午後5時です。定員になり次第締め切ります。

【注意事項】

- ★妊娠中の方は、市が実施する検診の対象になりません。
- ★検診は、異常の有無を見つけることが目的のため、乳房のしこりや不正出血などの自覚症状のある方、検診部位の病気で治療中・経過観察中の方は医療機関への受診をお勧めします。
- ★子宮がん検診
 - ・性交経験のない方、初めて受診される方は、医療機関検診をご利用ください。

★乳がん検診

- ・マンモグラフィは2年に1回の検診となります。そのため、41歳～56歳の方で、前年度マンモグラフィを受診された方は超音波検査のみとなります。
- ・豊胸手術をされている方、ペースメーカー・カテーテルが入っている方は、マンモグラフィは受診できません。
- ・授乳中の方は、正確な検診結果が得られない場合があります。

風しんの抗体検査をうけましょう

問 健康増進課（保健福祉センター内） ☎25 - 2100

昨年7月頃から、風しんにかかる方が増加傾向にあります。そのため市では、発生とまん延を予防するため、成人男性を対象とした抗体検査および予防接種を実施します。費用は原則無料です。

▼対象者 Ⅱ市に住民登録のある方で、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日の間に生まれた男性

○昭和47年4月2日～昭和54年4月1日の間に生まれた男性
 ； 4月中旬にクーポン券を郵送済みです。

○昭和37年4月2日～昭和47年4月1日の間に生まれた男性
 ； 健康増進課に申請すること
 で、クーポン券が交付されます。

■抗体検査・予防接種の受け方

①抗体検査を受ける
 「全国の協力医療機関」「市の行う特定健康診査」または「勤務先の健康診査」の会場で、市の発行したクーポン券・本人確認書類（運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードなど）を持参してください。
 ※クーポン券を持参しないと、抗体検査は受けられません。

②後日、直接手渡しや郵送などで検査結果が返却されます。

○検査結果が出たら
 「定期接種対象」の判定：予防接種の対象となりますので、予防接種を受けてください。
 「定期接種非対象」の判定：抗体がありますので、予防接種は必要ありません。

③予防接種を受ける（「定期接種対象」と判定された方のみ）
 「全国の協力医療機関」で予防接種が受けられます。抗体検査結果（抗体検査受診票本人控え用）、予防接種のクーポン券、本人確認書類を持参して予防接種を受けましょう。

※接種後に返却された予診票（予防接種予診票本人控え用）は、予防接種を受けた証明となりますので、大切に保管してください。
 ※クーポン券を持参しないと、定期予防接種は受けられません。

■クーポン券の再発行
 転入した方、クーポン券を紛失した方は、健康増進課へお問合せください。
 「全国の協力医療機関」や制度の詳細は厚生労働省のホームページで確認できます。